

■平成27年度第9回（第251回）

都市経営戦略会議（夏の集中審議）結果概要

【日 時】 平成27年8月27日（木）16時45分～17時05分
平成27年9月 1日（火）10時50分～11時10分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、木下副市長、本間副市長、水道事業管理者、技監、
都市戦略本部長、総務局長、財政局長、総合政策監、都市局長

【議 題】（3）長距離バスターミナルの設置

< 提 案 説 明 >

長距離バスターミナルの設置の概要について、都市局から次のような説明があった。

- ・ 大宮駅周辺における、高速バスをはじめとする長距離バスの運行状況については、西口からは羽田空港や成田空港へのリムジンバスを始め、大阪、京都、和歌山方面への高速バス、東口からは秋田、岩手、山形方面への高速バスが運行されている。東口駅前広場内には乗降場は整備されておらず、出発、到着それぞれ一日約70便程度が発着しており、西口に乗降場は集中している。
- ・ さいたま新都心駅では、西口・東口ともに駅前広場内に高速バスの乗降場が整備されており、羽田空港・成田空港へのリムジンバスのほか、大阪、京都、神戸、富山、金沢方面への高速バスが運行されている。出発よりも到着便が多く、出発便が一日約20便程度、到着便が一日約50便程度となっている。
- ・ 一方で、大宮駅及びさいたま新都心駅周辺には、バス乗降場を持たないツアーバス等も乗り入れており、その多くは、ソニックシティやさいたまスーパーアリーナ周辺の道路上で乗降している。
- ・ 課題として、大宮駅及びさいたま新都心駅周辺の道路では、慢性的な交通渋滞が発生するとともに、駅前広場には路線バスの乗降場は設置されているが、ツアーバス等の乗降場は整備されておらず、道路上で乗降が行われていることから、一般車の通行の妨げとなっている。
- ・ また、乗降場の場所も事業者によって異なり駅周辺に点在しており、運行情報等もわかりにくい状況となっている。さらに、道路上で乗降が行われていることから、上屋やベンチなどの待合スペースもなく、深夜利用ではトイレや売店等の利用も限られるなど、利用者にとって待合環境は決して良いとは言えない状況である。
- ・ 平成26年3月に策定した「さいたま新都心将来ビジョン」では、「広域的な都市活動の拠点、にぎわいあふれるまち」という目標を掲げ、三菱マテリアル地内で進

められている大規模な土地利用転換に併せて、交通拠点性を高める新たな交通広場の整備を検討することとしている。

- ・ 成長戦略においても、「東日本の中枢都市構想」の施策のひとつとして、「長距離バスターミナルの設置」を位置づけ、長距離バスターミナルの施設整備を図ることにより、バスの利便性向上を目指すこととしている。
- ・ これらの計画に基づき、長距離バスターミナルの検討を進めている。
- ・ 長距離バスターミナルの検討の概要について、説明する。平成26年度に基本構想として、事業予定地の比較検討や事業コンセプトを検討するとともに、全国のバスターミナルの事例を収集しながら、現在の運行状況からの施設規模や導入機能の候補について整理を行った。
- ・ 具体的な施設計画や概算事業費、運営方策、整備スケジュール等については、国や警察、バス事業者等による検討会において議論することとしており、8月25日に第1回目の検討会を開催したところである。年度末にはそれらを取りまとめた基本計画を策定し、平成28年度に実施計画を策定することとしている。
- ・ 施設整備や運営に対して、長期的な都市経営の視点を踏まえ、すべて公で整備する場合のほか、PFIやPPP等の民間活力を活用した場合について検討する必要がある。
- ・ 今後、具体的な施設計画に併せて、より詳細な整備スケジュールを検討することとしている。

< 意見等 >

- ・ バスターミナルの導入施設のイメージがつきづらい。どのような施設、機能を備えるかという整理をし、他自治体の事例等を踏まえ、必要最小限の整備に努めてほしい。
- ・ 予定地周辺の用途地域については。
 - 一部商業地域となっている。
- ・ 事業予測はどのようであるか。バス事業者はどれくらい手を上げてきそうか。
 - 具体的な協議は今後となるが、高速バス、ツアーバス等が路上で乗降させているような現状を踏まえると、ニーズは大きいものとする。
- ・ 相当な費用が見込まれる事業であるので、必要性や緊急性を明確に示してほしい。
 - 今後示していけるよう、しっかりと整理していく。
- ・ 観光客と旅行客とではそれぞれ荷物の量などが異なると思うが、駅からバスターミナルまでのアクセスは徒歩のみの想定か。
 - デッキの整備による徒歩を想定しているが、シャトルバスの運行なども視野に入れ、今後バス事業者などとの協議により整理していきたい。
- ・ 用地取得の時期や手法によっては費用負担の平準化が図られるが、整備スケジュールを後にずらすような検討の余地はないか。
 - 土地区画整理事業の事業期間の関係上、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催による交通需要等を踏まえると想定スケジュールで整備を進めたいと考えている。費用負担の平準化については、今後、財政担当と協議調整をしていく。

< 結 果 >

- ・ 長距離バスターミナルの設置については、下記の点に留意するものとして了承する。
 1. 利用者及びバス事業者の需要を的確に捕捉し、整備の必要性・緊急性を検証すること。
 2. 施設整備イメージと全体事業費を明確にし、将来負担額を示すとともに、利用者等の需要を踏まえ必要最小限の整備とするよう努めること。
 3. 今後の整備スケジュールを見据え、用地の取得時期及び資金調達手法について、費用負担の平準化が図れるよう調整すること。

< 会 議 資 料 >

(資料) 長距離バスターミナルの設置